



碧い大気
青い海 蒼い大地

金沢百万石

Kanazawa Hyakumanqoku

Kanazawa Million Weekly Bulletin No. 0330 4.12 2005

光州訪問記 江守巧 江守道子

春爛漫 北陸も、長い冬のトンネルを抜け出し、明るい季節が到来しました。先日、わたしの所属する金沢百万石ロータリークラブの姉妹クラブである、韓国の南光州ロータリークラブ主催の地区大会出席のため4日間の短い旅に出かけました。わたしは、今から15年前、1年間アメリカに家族で過ごしていましたが、帰国後、日本はアジアに顔を向けていなかったことに気づき、日本語に近い韓国語の勉強を始めました。元来怠け者で、なかなか韓国語も上達しませんでした。今回、できるだけ韓国語で話したところ、皆さんにほめられ、今後も頑張ろうと心新たにしました。

光州のつかの間の観光で、無等山の山寺を訪れましたが、ピンクの桜の花と黄色のれんげょうが咲き乱れ、金沢では行けなかった”花見”も楽しむ事が出来、最高でした！

地区大会前夜際は、韓国の伝統的な踊りや歌があり、懐かしい人たちの再会や新たに出会った人たちの楽しい会話が盛り上がりしました。改めて出会いの大切さや世界の広さを感じました。とりわけ、昨年、当家にわずか5日間ホームステイした中学生の宋原燦（そうおんちゃん）君は、ご両親と妹さんがそろって出迎えてくれ、再会の喜びで胸が熱くなりました。色々な行事の後、帰り際に宋君お母さんの手作りの韓国のバジチョゴリとチマチョゴリを着たかわいい男の子と女の子の紙人形を頂きました。帰国後家で開けてみてその表情のあどけなさ、心を込め時間をかけて作ってくださった事を思う時、”国や言葉、文化、宗教がどんなに違ってても人と人をつなぐ心は同じなのだという事”を再認識した旅でもありました。このような民間レベルの交流が、ひいては世界平和に貢献する事が出来ることを考えると、ロータリー精神の素晴らしさを感じた旅でもありました。（江守クリニック広報誌から）



右の写真は昨年江守家でホームステイした宋原燦（そうおんちゃん）君のお母様が作られた紙製の手作り人形です。

江守会員が会員の皆さんにこの可愛らしい手作りの人形を見てもらいたいということで例会場に持ってこられ点鐘の前に飾られました。

あまりの可愛らしさに感心し皆さん、羨ましそうです！
現在、クリニックのほうに飾ってあるそうです。

2004～2005

- （理事） 会長：炭谷亮一 会長以外：二木秀樹 直前会長：坂口國男 副会長：江守巧 岩倉舟伊智
 幹事：魏賢任 副幹事：野城勲 水野陽子 会計：池田裕之 クラブ奉仕委員長：木村幸生
 職業奉仕委員長：村田祐一 社会奉仕委員長：北山吉明 国際奉仕委員長：木村陽子 新世代委員長：西村邦雄
 （役員） 監査：吉田昭生 例会：高嶋由治 SAA：江守道子 RC情報：谷伊津子 広報：市島明子
 会報：石丸幹夫 増強拡大：山下公一 修練選考：木場紀子 企画：宮永満祐美 親睦：齋木妙子
 友好：東山卓嗣 R財団委員長：岩倉舟伊智 米山委員長：東海林也令子 地域発展委員：石丸幹夫
 （事務局） 相川晶代

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19：00
 事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241
 E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www.hokuriku.ne.jp/million/
 事務局執務時間 月火水金 10：00～16：00 木 15：00～20：30 休憩時間 12：00～13：00 休日 土日祝日



例会便り

330回
 ホテル日航 5F
 出席 19/40 47.5%
 3月修正出席率 76.5%
 2005.4.28

点 鐘

SONG 手に手つないで
 四つのテスト

会長 挨拶 大型連休で少
 人数の例会となりました。
 参加が少ない事が予想され
 ましたので、今日の卓話は
 私が「ガン告知の難しさ」



というテーマで話をさせていただきます。

特別ゲスト紹介 石川第一分区 B ガバナー補佐 藤田 清 様
 メイキャップゲスト紹介 金沢東 R C 松木浩一様 金沢西 R C 川口征
 弘様

皆出席顕彰 1カ年 江守 巧 会員

《 食 事 》

幹 事 報 告 ・ 委 員 会 報 告



金会員より 南光州 R C の朴先生より電話があり、韓国の念珠 R C と河北南 R C が
 姉妹提携することが決まり、私が通訳をすることになりました。皆さんも、どうぞメ
 ーキャップして盛り上げてあげてください。

ニコニコBOX ￥9,000 本年度合計 ￥535,246 残高 ￥4,655,635-

ガバナー補佐 藤田様 今期の役割も皆さんのご協力のお陰で終わりが近づいています。有り難うございました。 炭谷亮一
 会長 ゴールデンウィークをエンジョイしましょう。江守巧・道子会員 急速に暑くなりました。夏服を着てきました。福知
 山出身の先生が、有名になりすぎて困っていました。 西村邦雄会員 川と海のクリーン
 作戦に参加された会員の皆様、有り難うございました。来年も宜しくお願いします。 土田
 初子会員 ガバナー補佐 藤田様 ようこそおいでくださいました。

ガバナー補佐 藤田様より 一言昨年10月の炭谷会長に第一分区 B のガバナ
 ー補佐を依頼し、お引き受けを頂きました。5/15 迄にガバナーに報告書類を提出す
 るため、本日、参加させて頂きました。百万石 R C は、和やかで心安まるクラブ
 です。



講話の時間

「癌告知の難しさについて」炭谷会長

皆様も良く御存知の金沢大学文学部のホ
 ルナルト先生は 昨年12月初旬から3月
 24日に死去されるまで、週に二~三回
 お見舞して、肺癌の末期の闘病生活をじっ
 くり観察しました。担当医による癌告知の
 内容を患者及び家族が十分に理解出来ない
 為、闘病生活はまさに迷走飛行をする航空
 機の様でした。 あらためて癌告知の難し
 さを思い知らされました。



私の今の話をたたき台として会員の皆様
 とディスカッションしたいと思います。

会員 A 私の経験上、癌は患者自身に必ず告知すべきである。 会員 B 患者が老人である場合、告知されていな
 い場合もある。 会員 C アメリカではくりかえしくりかえし癌告知、病状、治療法について十分インフォーム
 ド、コンセントを行なっている。 会員 D 中国では気孔による癌治療も行なっている。 会員 E 癌予防の為、
 十分免疫力をつける為、サプリメントをとる代替医療も有効性がある。 会員 F 今の時代はやはり患者及び家族
 に癌告知を十分に行ない、他の医療機関にセカンドオピニオン、サードオピニオンももともとめさせて治療する医療機
 関を患者及び家族に決定させる。 ともかく癌治療は早期癌以外は誰がやっても難しい。 会員 G 日本では癌登
 録が出来ていない。国家的大事業として全ての癌患者の登録を行ない、統計学的結果を出してそれによって治療計
 画をたてるべきである。

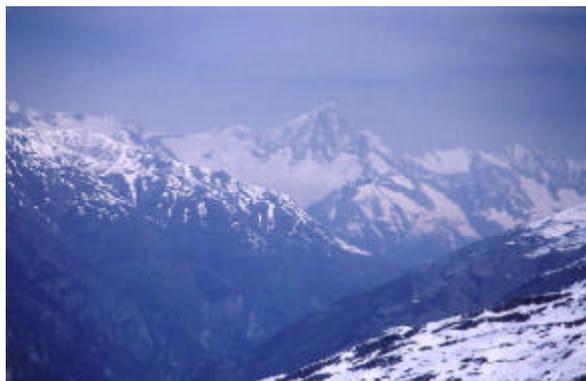
- - - - 点 鐘

会 員 消 息

素晴らしい晴天に恵まれアルプスの名山を見る事ができました。

4/30 ~ 5/1

石丸幹夫



ユングフラウ 4158m



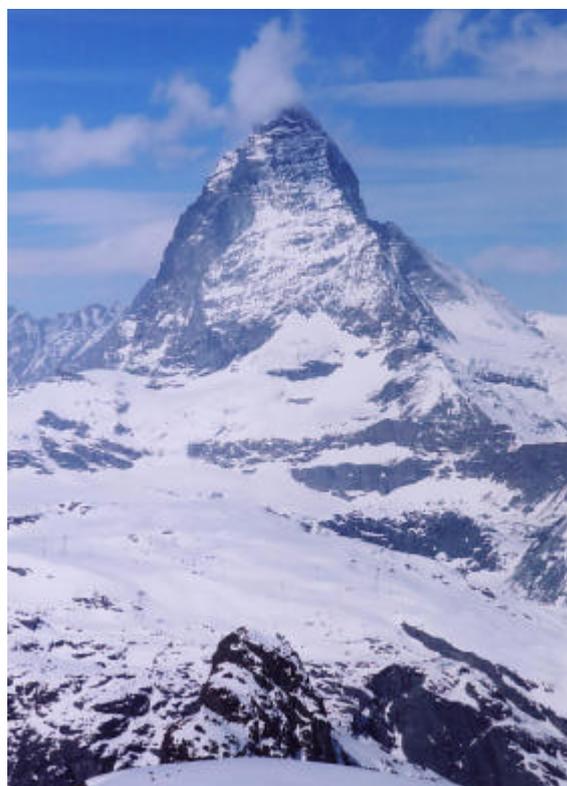
モンブラン 4807m



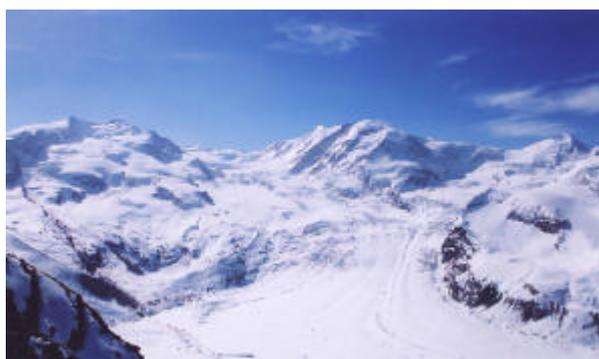
ブライトホルン 4160m



マッターホルン 4478m



マッターホルン 4478m



モンテローザ 4634m と リスカム 4527m

例 会 日 程

- 4/28 『ガン告知の難しさ』 炭谷亮一 会長
- 5/5 休会
- 5/12 『ドレスデンの話』 シルビア・ベヒターさん
- 5/19 金沢美術工芸大学 角谷 修 氏
- 『ニューヨークのアート』(予定) 韓国語講座
- 5/26 河原山晴夫氏(元金沢市立工業高校校長)
- 6/2 フリーランス会議通訳者 早川芳子氏
~ 英語で例会 ~
- 6/9 博士(社会環境科学) 河原 清氏
- 6/16 未定
- 6/23 今年度最終例会
フルート奏者 田代真佐子氏

再びウィーンリンクロータリークラブ訪問 石丸幹夫

5/6(金) 13:00 ~ 14:30 オーストリアのウィーン市のパレイシュバルテツェンベルグホテルにて行われた例会に出席しました。出席者は 菊知龍雄ガバナーエレクトと石丸幹夫・恭子でした。丁度、フランスでロータリー大会があり、出席会員は少なかったのですが、シューベルト氏やククスコ氏など知り合いの会員もおられ、旧交をあたためました。



向かって右はし菊知ガバナーエレクト



向かって左から石丸、シューベルト氏、ククスコ氏

地区だより

韓国光州市の光州念珠RCの一行が河北南RCを訪問



先に本年4月17日の韓国3710地区大会の席上約束した両クラブの友好関係を更に進めるために今回は5月9日に光州念珠クラブのガバナー補佐の朴庠根氏ご夫妻他、会長ご夫妻、幹事が河北南RCを訪問しました。例会の食卓に沢山の花がかざられたり、勝泉会員ご夫人の手製のキムチも大鉢に盛られ大変な評判でした。例会後は同館で二次会が行われ、カラオケもあって10時過ぎまで、親交を深めました。尚百万石RCからは金沂秀会員、江守巧会員、江守道子会員、石丸幹夫会員がメイキャップしました。

ロータリーの出席

極めて重要な仕事と例会が重なった場合は、当然、仕事が優先されます。どう考えても、急患を断ってロ・タリ-の例会にできることが、医師の倫理にかなうとは思えないからです。不幸にして健康を害した時も同様です。ストレッチャ-に乗せられて例会に出席することが、特に賞賛に値する事例とは思えません。特別な事態が起こった時は常識が優先します。そのために、メ-クアップという制度があるのです。

入会まもない頃は、出席の重要性が充分理解できないこともあって、つついメ-クアップを怠ることが多いようです。周りが顔見知りのホームクラブと違って、知らない人ばかりの他クラブの例会に参加することへの気遣いもあるでしょうし、メ-クアップの方法が解らない人もいるでしょう。新入会員を数組に分けて、メ-クアップならぬメ-ク・フレンドとして、近隣クラブを訪問することも効果的な方法です。

あらかじめ、出張などで例会欠席が判っている場合には、事前にメ-クアップを済ます習慣をつけておく方がよいと思います。欠席した後で、あわててメ-クアップの場所を探すよりも、前後4週間に選択の幅を広げる方が融通性につき易いことはいまでもありません。

100%出席は全ロ-タリアンの目標です。事業も安定し健康に恵まれているからこそ達成できる目標でもあります。ロータリアンは長生きする人が多いといわれています。出席義務を果たすために健康に留意し、自己管理を怠らないことにその原因があるとすれば、万金に値する profits とも言えましょう。メ-クアップを有効に活用して、ぜひとも、その目標に向かって努力していきたいものです。(第2680地区パストガバナー 田中 毅)